

## 平成 27 年度学校経営計画表

### 1 学校の現況

学校番号	55		学校名	県立中央高等学校			課程	全日制			学校長名	森田 浩一						
教頭名	深谷 浩一									事務(室)長名	桧山 信久							
教職員数	教諭	34	養護教諭	1	常勤講師	2	非常勤講師	5	実習教諭 実習講師	1	外国語 指導助手	1	事務職員	3	技術職員等	3	計	53
生徒数	学科・コース			1年		クラス数	2年		クラス数	3年		クラス数	生徒数合計		合計クラス数			
				男	女		男	女		男	女		男	女				
	普通			73	87	4	65	95	4	56	98	4	194	280	12			
(普)スポーツ科学			28	12	1	27	11	1	31	6	1	86	29	3				

### 2 目指す学校像

<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の進学校として、地域住民や中学校から信頼される学校（きめ細かな学習指導・進路指導を行い、生徒の希望進路の実現を図る。）</li> <li>・自律ある行動ができる生徒の育成に努め、明るい学校（生活の基礎である基本的な生活習慣を身に付けさせる。）</li> <li>・心のふれあいを大切にできる学校（魅力ある特別活動と部活動の推進を図る。）</li> </ul>
---

### 3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項目	現状分析	課題
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どの授業においても、落ち着いた雰囲気の中で授業が行われている。</li> <li>・生徒の進路希望に合わせて特進クラスと普通クラスを設置しているが、卒業生の進路から生徒の希望に応じた授業展開が行われている。</li> <li>・自習室を積極的に活用した生徒が国公立大学に合格している。</li> <li>・生徒の学習意欲に差があり家庭学習をほとんどしない生徒が全体の3割以上いる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習意欲の高い生徒のニーズに応える授業内容・指導法の工夫改善</li> <li>・生徒の将来に繋がる授業展開と基礎学力の定着</li> <li>・生徒や学年からの要望に応える自習室の整備</li> <li>・校内での学習に加えて、家庭での学習時間の向上</li> </ul>

項 目	現 状 分 析	課 題
進 路 指 導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国公立大学合格者数9名、私立大学延べ合格者数170名、短大合格者数6名、専修学校合格者数64名、就職者27名（内公務員1名）という結果であった。</li> <li>・国公立大学合格者数9名の内、5名が一般試験での合格であった。大学進学を目指す生徒の意識が、高い学力を身につけて進学しようという方向に変化してきていることが窺える。</li> <li>・中堅私大（日東駒専クラス）への合格者数が少数であった。</li> <li>・大学進学志願者数は、増加した。</li> <li>・より高い進路目標を掲げ、希望進路を実現するために、今年度も中央高校進路指導年間計画表（中央メソッド）を作成し、各学年で実施した。</li> <li>・各学年において、中央メソッドに基づいた土曜課外、模擬試験、各種進路行事等が計画的に実施され、課外への参加生徒の増加や進路意識の高揚、実力養成につながった。</li> <li>・一方で、進路意識が低い生徒も若干見られ、安易な進路選択をしてしまう生徒が見られた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進学校として地域から認識されるためにも、生徒一人一人に高い進路目標を持たせ、個々の進路実現に向け学力を伸ばしていくことが重要</li> <li>・大学進学希望者数の増加</li> <li>・学校としての進路目標として、国公立大学合格者数二桁、大学一般合格者数の増加、中堅私大合格者数の増加、早期の進路意識の高揚を継続して掲げる</li> <li>・進路指導年間計画表（中央メソッド）に沿った計画的進路指導のなお一層の充実</li> <li>・課外指導、模擬試験等の計画的実施</li> <li>・個々の生徒に応じた進路実現に向けたキャリア教育としてのホームルームの充実</li> <li>・インターンシップ、学校見学会、面接指導の充実</li> <li>・1,2年次における進路指導方法の模索と確立</li> </ul>
特 別 活 動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事充実への生徒の期待感が高まっている。</li> <li>・スクールバス制度に支えられ、66%の生徒が放課後の部活動に取り組んでいる。</li> <li>・生徒会役員が各種説明会での生徒代表として大きく貢献している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事の充実（文化祭、クラスマッチ）</li> <li>・活発な生徒会活動の展開</li> <li>・部活動の活性化と強化</li> </ul>
生 徒 指 導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大きな声で自ら進んであいさつができる生徒は約70%である。</li> <li>・登下校では、頭髪、服装などほとんどの生徒が順守しているが、校舎内では、約10%の生徒に襟元の乱れなどがみられる。</li> <li>・遅刻など基本的な生活習慣が身につけていない生徒が数名程いる。</li> <li>・自転車通学者の約10%の生徒に、傘さし運転など道交法違反をしている場面が見られる。</li> <li>・生徒への指導について教職員の共通理解がさらに必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校舎内外の巡回指導や登校指導の実施</li> <li>・主体的に校則順守ができる意識の向上</li> <li>・教職員間の指導基準の再確認と一部の教職員に過度な負担がかからないよう全職員による生徒指導の徹底</li> </ul>

## 4 中期的目標

- ・多様化した生徒の学習意欲を喚起するための教育内容・教育方法の充実を図る。
- ・生徒の進路希望を実現するために、課外指導等の充実を図り、きめ細かな進路指導を行う。
- ・生徒指導の一層の充実を図り、規律正しい行動ができる生徒の育成に努め、明るい学校作りを目指す。
- ・心の問題を抱える生徒が多くなっている現状を重視し、個人面談・教育相談体制の充実を図る。
- ・活力ある学校づくりのために、部活動の充実と強化を図る。
- ・明るく楽しい学校生活になるようホームルーム活動、生徒会活動、歩く会、クラスマッチ、蒼星祭、芸術鑑賞会等の内容の充実を図る。

## 5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
1 学力の向上を目指した授業の展開と家庭学習の習慣化	(1)わかる授業の展開及び生徒の進路希望に沿う学力向上を目指した指導の工夫 (2)学習意欲を高めるための考査の充実 (3)家庭学習の習慣化
2 進路指導における中央メソッドの具体的な運用と充実	(1)課外指導の計画的実施及び受講生徒数の増加 (2)キャリア教育の充実を図り、個々の生徒により高い進路目標を設定させる (3)進学を意識した進路指導 (4)インターンシップ、大学見学会や面談指導等の充実 (5)進路ガイダンス、各種調査、模擬試験等の計画的実施
3 HR活動や学校行事、部活動への自主的な参加促進及び結果の広報	(1)集団の一員としてホームルーム活動や学校行事（文化祭）に自主的に参加する態度を育てる。 (2)部活動の様子や活躍をHP及び中央だよりに定期的に掲載し、PRを図る。
4 生徒一人一人の自律を促す段階的指導の充実による規範意識の高揚	(1)頭髪・服装・挨拶・言葉遣いなども含めた基本的生活習慣の確立・定着 (2)毎日の授業への心構えと安全・安心な生活環境の充実 (3)生徒理解を深めるために教育相談等の有効活用 (4)いじめの未然防止、早期発見、早期解消